

## 地域で見守る「こころの健康サポーター」養成事業 ＝理美容店と連携し、地域における見守りの輪を広げる＝

(実施期間) 平成 26 年度～

(基金事業メニュー) 人材養成事業

(実施経費) 平成 26 年度 1,130 千円  
( 1,115 千円 )

(実施主体) 宮崎県

### 【事業の背景・必要性】

自殺は、様々な要因が複雑に関係し合っ起こる「追い込まれた末の死」とされており、自殺を防ぐには、地域全体で悩んでいる人に寄り添い、関わることを通じて「孤立」を防ぐとともに、専門機関に早期につなぐことにより、早い段階で悩みを解決に結びつけていくことが重要である。特に働き盛り世代など医療機関や相談窓口との接点の少ない年齢層に対し、予防介入できる人材や機会を増やしていく必要がある。

このため、県民にとって地域で身近な理美容店の関係者に対し、「気づきや声かけ」に関する研修を実施し、日頃の業務の中で見守り役を担っていただくことにより、地域における見守りの輪の充実を図った。

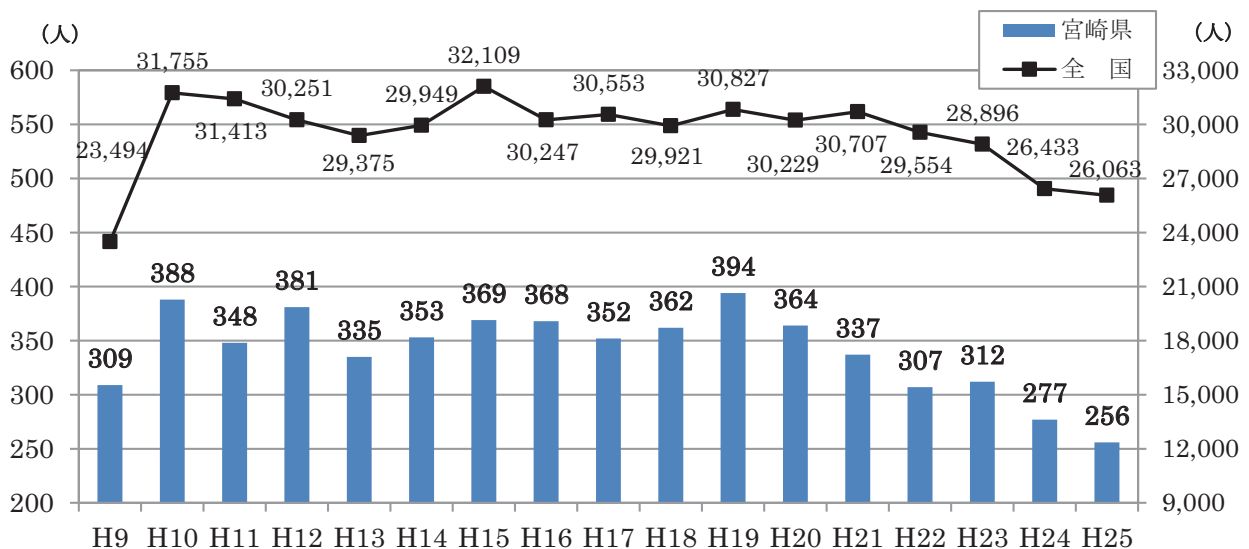
### 【地域の特徴・自殺者数の動向】

本県の自殺者数は、平成 10 年に大幅に増加してから概ね 300 人台後半で推移し、平成 19 年に過去最高の 394 人を記録後、減少傾向にあり、平成 25 年は前年比 21 人減の 256 人となっている。自殺死亡率は、22.9 で全国では 9 番目に高くなっている。

総人口	年齢3区分別人口(割合)		
	年少(0～14歳)	生産(15～64歳)	老年(65歳以上)
1,135,233 人	14.0%	60.2%	25.8%

(出典：平成 22 年国勢調査)

### ■本県と全国の自殺者数の推移（平成 9～25 年）



【厚生労働省「人口動態統計」より宮崎県作成】

### 3 早期対応の中心的役割を果たす人材を養成する⑨

#### 【事業目標 事業内容】

(1) 「こころの健康サポーター」養成講座の開催  
県内3地区、合計260名の理美容関係者向けに講座を開催した。内容としては、まず県から本県の自殺の現状と課題を説明し、その後市民活動団体から「気づきや声かけ」のポイント等を説明するとともに、接客デモンストレーションを行い、参加者で意見交換を行った。

講座は、単独ではなく、理美容組合主催の衛生講習会の一プログラムとして、1時間程度実施した。



【開催状況（接客デモンストレーション）】

(2) 「こころの健康サポート」協力店での見守り  
講座終了後のアンケートで、今後見守り活動に取り組むことが可能と回答いただいた受講者には、ステッカーや県内の相談機関の連絡先等が記載されたリーフレット・カード等を配布した。

上記受講者の各店舗（106店舗）においては、日頃の接客業務の中で、声かけや傾聴に取り組みながら、必要に応じてお客様へ相談機関の情報提供等を行っている。



#### 【事業実施にあたっての運営体制】

講座の実施に関する調整は、県（自殺対策担当、衛生担当）、保健所（自殺対策担当、衛生担当）、県生活衛生営業指導センター及び県理美容組合で行った。また、講座の実施にあたっては、本県の市民活動団体（ヘルプラインいのち）に協力をいただいた。

#### 【事業の工夫点】

講座の開催方法は、多忙な理美容店関係者に負担をかけないように定例の衛生講習会を活用した。内容については、講義部分を簡潔に行う一方、接客デモンストレーションを行うなど、参加者に分かりやすいものとなるよう努めた。また、本事業に全面的に協力いただいた県理美容組合には、3月に実施した自殺対策フォーラムにおいて、それぞれ知事感謝状の授与を行った。

#### 【事業成果及び評価、今後の課題、その他特筆すべき点】

今後は県内で未実施の地区において、順次講座を開催していくとともに、県民生活に密着した事業展開を行うその他の業種の事業者にも協力を呼びかけていく。

(問合せ先) 宮崎県福祉保健課地域福祉保健・自殺対策担当  
TEL: 0985-26-7075  
E-mail: fukushihoken@pref.miyazaki.lg.jp  
URL: <https://www.pref.miyazaki.lg.jp/>